

長野大学紀要

第38卷第1・2号合併号（通巻第137号）

退職記念号

長島伸一教授

安井幸次教授

長野大学

2016年10月

長野大学紀要

第38卷第1・2号合併号（通巻第137号）

退職記念号

長島伸一教授

安井幸次教授

長野大学

2016年10月

目 次

〈論 文〉

ため池が里山林に生息する節足動物を中心とした動物相に及ぼす影響

.....高橋大輔.....
.....西 順平・斉藤大地・堀内聖志・海津 亮.....
.....馬場文秋・朝妻裕之・小林 慧・山崎 尊.....1

日本近代農業史における民間農法・有機農業の位置づけをめぐる諸問題（1）

—黒澤浄の事例を中心に—

.....古田睦美・下里俊行.....9

〈研究ノート〉

社会福祉士国家試験の変遷と通知等に見る行政指導

—厚生労働省通知等からみた高齢者福祉分野科目の位置づけ—

.....森田靖子.....21

〈実践報告〉

肢体不自由のある子ども達のための教材開発（2）

—マイクロスイッチを活用した入力システムの開発—

.....杉浦 徹.....31

〈2015 年度長野大学研究助成金による研究報告〉

(準備研究)

有機農業運動の多系的発展モデル構築に向けた社会学的研究：中山間地を事例にして
.....相川陽一.....37

場面緘黙児支援における環境因子への介入の効果の検証
—支援会議による間接的介入を通じて—
.....高木潤野.....39

満洲事変の歴史的 성격に関する総合的研究
.....塚瀬進.....41

現代中国語における敬語体系に関する語用論的研究：疑問文に焦点を当てて
.....宮本大輔.....43

構造色の反射特性推定とCG再現のための光反射モデル構築
.....望月宏祐.....45

(基礎研究)

自己有能感とストレスコーピングに注目した就業力の測定
.....河野良治.....47

若者の労働と安倍政権の雇用政策の検討
.....京谷栄二.....51

人の肌の数値生体モデルの構築と光反射特性の解析
.....田中法博.....53

2015 年度 長野大学研究助成金による研究一覧

区分	研 究 者	テ ー マ
準備 研究	1 相川 陽一	有機農業運動の多系的発展モデル構築に向けた社会学的研究： 中山間地を事例にして
	2 高木 潤野	場面緘黙児支援における環境因子への介入の効果の検証 —支援会議による間接的介入を通じて—
	3 塚瀬 進	満洲事変の歴史的 성격に関する総合的研究
	4 宮本 大輔	現代中国語における敬語体系に関する語用論的研究： 疑問文に焦点を当てて
	5 望月 宏祐	構造色の反射特性推定とCG再現のための光反射モデル構築
基礎 研究	1 河野 良治	自己有能感とストレスコーピングに注目した就業力の測定
	2 京谷 栄二	若者の労働と安倍政権の雇用政策の検討
	3 田中 法博	人の肌の数値生体モデルの構築と光反射特性の解析

長野大学紀要編集規程

(名称および発行)

第1条 本誌を「長野大学紀要」(以下「本紀要」という。)と称し、年4回発行することを原則とする。

(目的)

第2条 長野大学において教員が行っている研究および本学で実施された共同研究や受託研究の成果を学内外に紹介し、長野大学の教育・研究活動の活性化に寄与することを目的とする。

(編集委員会)

第3条 長野大学図書館運営委員会のもとに、長野大学紀要編集委員会(以下「編集委員会」という。)を置く。編集委員会委員長は図書館運営委員会委員長が兼ねる。

2 本紀要の原稿の募集・編集は編集委員会が行う。

(投稿資格)

第4条 投稿できる者は原則として本学の専任教員、客員教員、名誉教授とする。ただし、本学の非常勤講師等も投稿することができる。

2 本学の教員と共同研究を行う者。

3 本学学生・研究生等は、投稿資格を有する教員等が共著者である場合は投稿を認める。

4 その他編集委員会が認めたもの。

(投稿原稿)

第5条 本紀要に掲載する原稿は他に未発表のものに限り、種類は次の各号に掲げるものとする。

(1) 論文

(2) 研究ノート

(3) 書評

(4) その他の編集委員会の認めたもの

(研究倫理の遵守)

第6条 本紀要に投稿する原稿は、長野大学研究倫理規程に則ったものであること。

(点検)

第7条 本紀要に掲載される論文等の水準を維持するために、編集委員会が点検を行う。場合によっては編集委員以外の者の意見を聞くことがある。

2 編集委員会は点検の結果に基づき、原稿の内容について執筆者に修正を求めることがある。

3 点検についての詳細は別に定める。

(掲載の可否)

第8条 編集委員会は点検結果に基づき、投稿原稿の掲載の可否を決定する。

(著作権)

第9条 本紀要に掲載された論文等の著作権の取り扱いは、以下のとおりとする。

(1) 著作権は著者に帰属する。

(2) 著者は著作物の複製権と公衆送信権の行使を大学に委託する。

(3) 本紀要に記載された論文の全部あるいは大部分を他の著作物に利用する場合には、その旨を編集委員会に申し出るとともに、出典を明記すること。また、一部分を利用する場合にも、文献あるいは図説の下に出典を明記すること。

(論文等のネットワーク上での公開)

第10条 本紀要に掲載された論文等は、原則として電子化し、長野大学ホームページ等を通じてネットワーク上に公開する。

2 公開を希望しない場合は、寄稿申込時に所定の手続きにより、公開を拒否することができる。

(配布)

第11条 発行された紀要は専任教員、客員教員、名誉教授および非常勤講師等へ配布する。

(抜刷)

第12条 執筆者には抜刷50部を配布する。ただし、50部をこえる分については執筆者がその費用を負担するものとする。

(執筆要領)

第13条 原稿は別に定める執筆要領にしたがうこととする。

(改廃)

第14条 この規程の改廃は、全学教授会の意見を聴き、学長が行う。

附則

本規程は平成 5年7月1日から施行する。

本規程は平成17年4月1日から施行する。

本規程は平成23年4月1日から施行する。

本規程は平成27年4月1日から施行する。

本規程は平成28年4月1日から施行する。

編集委員会

委員長 京谷 栄二

委員 高木 潤野、高橋 一秋、高橋 大輔

塚頼 進、望月 宏祐

2016年10月31日 発行

長野大学紀要 第38巻第1・2号合併号(通巻第137号)

編集 長野大学紀要編集委員会

発行所 長野大学

長野県上田市下之郷 658-1

TEL (0268)39-0005

印刷 田口印刷株式会社

上田市殿城 425-1

TEL (0268)22-0680

BULLETIN OF NAGANO UNIVERSITY

Vol. 38, No. 1 • 2 , October 2016

Issue in Honor of Professors Retired in March 2016

President's Message: In Appreciation of Service.....Eizo NAKAMURA

Professor's Profiles

Shinichi NAGASHIMA

Kouji YASUI

CONTENTS

Articles

Effects of Small Reservoir Pond on Arthropod Fauna in Satoyama Forest

Daisuke TAKAHASHI • Jumpei NISHI • Daichi SAITOH • Kiyoshi HORIUCHI • Ryo KAIZU
Fumiaki BABA • Hiroyuki ASAZUMA • Kei KOBAYASHI • Takeru YAMAZAKI..... 1

Questions about the Evaluation of Indigenous Farming Methods in the History of Japan's Modern
Agriculture (1) : The Case of Kiyoshi Kurosawa

Mutsumi FURUTA • Toshiyuki SHIMOSATO 9

Research Notes

The Treatment of Old-Age Welfare Courses in the Curriculum of Certified Social Worker Education:
Analyzing the Instructions of Ministry of Health, Labour and Welfare

Yasuko MORITA..... 21

Activity Report

Teaching Materials for Children with Motor Disabilities (2) :

Development of the Input System Using the Micro Switch

Toru SUGIURA.....31